

平成30年度 地方創生推進交付金事業実施結果

	交付金の種類	事業名	事業概要・目的	事業項目	平成30年度 決算額(千円)			重要業績評価指標(KPI)					新庄村地方創生推進委員会での意見	
					事業費	交付金充当額	村単費額	指標	目標年月	目標値	実績値	達成状況		
1	推進	テレワーク人材育成事業	平成27年度からの継続事業であり、若い女性や子育て世代の女性のICTスキルを育て、東京の企業と連携してテレワーク就労できる体制を構築することで、転出の抑制と、首都圏などからシングルマザーの移住を促進し、人口減少を食い止め、出生数の向上を図る。 こうした仕組みを整えつつ、将来的には、首都圏等からのUIJターンを促し、ソフト技術等を活かして田舎で働きたいIT技術者等の受け入れを行うことにより、地域内のIT技術者を増やし、高度なプログラム開発の仕事への対応強化や津山市との連携によるニアショア拠点化を図る。	①人材育成研修費	4,526	2,250	2,276	新規就業者数(テレワーカー登録者数)	H31.3	5人	6人	達成	テレワークの取組が十分に周知できていないので、事業を請け負っている(株)まちづくり新庄村のホームページ上でテレワークをしている風景や請負実績を紹介してはどうか。	
				②テレワークコーディネーター人件費	5,219	2,600	2,619							
				③コワーキングスペース管理委託費	1,500	750	750							
				③仕事獲得営業活動費	2,351	1,150	1,201							
2	推進	移住定住促進事業	(一社)日本シングルマザー支援協会などと連携して、村単独での移住説明会を実施する。同時に、新庄村の知名度アップを図り、新庄村の子育て環境の良さ、住みやすさの情報拡散に向けて、移住雑誌や新聞などのメディア媒体と連携して広報PRを行う。また、移住体験ツアーを実施し、実際に新庄村を訪問してもらうことで、村の良さを感じてもらう。	①移住説明会開催経費	6,611	3,305	3,306	移住人口(社会増)	H31.3	1人	△16	未達成	来年度以降も続けた方がよい。	
				②広報活動費										
				③移住体験ツアー開催経費										94
3	推進	農地山林データバンク構築事業	農業、林業従事者が高齢化しており、その事業継承が大きな課題となっている。そこで、高齢者が存命中に、事業継承の意志、後継者の有無、誰に相続させたいのかなど、具体的に相続、事業継承に関する意識調査を行い、土地の継承状況を把握し、データバンクを構築する。加えて、森林資源については、林相や生育経過とその将来予想など、既存の資料で把握できない部分について、新たに森林の基本データ構築を行う。(H29年度は実態調査、H30年度はシステム構築)	データバンク構築業務委託費	3,998	1,999	1,999	第1次産業新規就業者数	H31.3	2人	1人	未達成	特になし	
4	推進	真庭版DMO推進体制支援事業	真庭市及び新庄村が加盟する真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局」がマーケティングを実施し、ターゲットを明確にしたプロモーションを実施していくことで、観光入込客数の増加を目指す。また、本圏域の多彩な地域資源を活用した滞在交流型観光を強化することで、観光客の滞在時間の延長による消費額の増加で地域経済の活性化を図る。	真庭観光局への負担金	2,083	1,008	1,075	観光入込客数	H31.3	161千人	93千人	未達成	真庭圏域の観光客が減少しているため、真庭圏域の道の駅同士でコラボレーションを考えてはどうか。	
5	推進	宿泊施設整備事業	観光、ビジネス面での宿泊機能の強化を図ることを目的に宿泊施設の整備を行う。具体的には街並み保存整備事業により、宿場町の面影を残している旧出雲街道沿いの「がいせん桜通り」の古民家を宿泊施設に改修する。	古民家の改修経費	49,296	15,000	34,296	-	-	-	-	-	-	営業計画を作ってしっかりシミュレーションをした方がよい。また、宿泊以外でランチ営業もしたらどうか。
					75,678	28,109	47,569							